

総ド神もる支景手優そてけいなことの学た。ン昭興でがなりあり五
 合ンと業、姿えとの勝れる鮮ないつととし中校。ピ和の象承知すが、い私十年近
 金オこ人で床は、運飾体動では明ののほきレど、在が九のの小学校で記憶い前
 メリろ思間した平体動でた光にのほきレど、在が九のの小学校で記憶い前
 ダンでつのが。行全でた操が裏すが、どた。視業ンてさ東とに生な多のこ
 ルピ、た限。行全でた操が裏すが、どた。視業ンてさ東とに生な多のこ
 にツ今も界子に体を遠競り焼き付いでた。個ロしえ心て手の雄総す
 輝ク年のをどなを片もつ幸で雄総す。い
 いでので超もつ片もつ幸で雄総す。い
 た個ロしえ心て手の雄総す。い
 体人た。にいで光選合

随想



県中教育

県中教育事務所長 青田 誠

編集・発行
 福島県教育庁
 県中教育事務所
 発行責任者
 青田 誠

編集協力
 県中市町村教委
 連各支会
 県中各地区小中
 学校長協議会

発逆にイ例界り大や電が なな力てれな訓め優なさけ驚活いお操
 信に得ムをがま変携子話と努力をしませこれた異用時り選
 す世るで挙現すな器もとと身まうにまはたとこのし、かまし
 る界こ種げ実勢なまど、のわら間け、のるののをかしまが体中
 こに向がのば、たで情りよS展Tパ異な、。要に
 もけでき報アうFし機ソコ、。要に
 でてき報アうFし機ソコ、。要に
 き情ま瞬ルで世お
 ま報す時タす。



なこ期ちますと汗回質です験にせたりえとこ
 いとをにり。がしりやするなり。なり。あはし
 とも逸大、利大て道能じプ体り。しり。あり
 思考し切知便切地で力めロ験ま確たも手器
 うえてなら性をあある取つてはする経行直接
 こなくま力知受思組もずできるこ錯接
 頃でては得ずす思む額るの資と誤経
 ずはる時うあまこにす。資と誤経

分かりやすいということ



浅川町教育委員会教育長 内田 賢壽

究月いき！複に分測出今%味クめのぜ者のこのかな？踏いしきこみ得さるの
 チ、へだタ雜はか事会ま近%味クめのぜ者のこのかな？踏いしきこみ得さるの
 ！名んしをな出り実つで、くさネーかこ最のの人れ。か悪迷も「、惡迷かてあ頭ス
 ム古分て整理現会やかて、あらルダをな、章分け同「めう、別四靈いじいるにト
 一屋かい理象わすらはこの字「クんで山あり違原々憑ぞだ本八わ、わーはシス
 0大り。のなく説確た。言と宙「マだ。く著とすがをぐれなははにらから殺次キキ
 P学や、中か説明しそしに分体必「こき宇えのるしす、とえどき曠せつもの「
 Eなすそーかつ明。葉が全のタ。そで一考いあ訳りて、とえどき曠せつもの「
 Rどい。真らたしそしに分体必「こき宇えのるしす、とえどき曠せつもの「
 Aの。過理多。てのかはかに要「こき宇えのるしす、とえどき曠せつもの「
 「国昨程「く著い存し幾つ約性「で、いは。多の羽野よ、あすに？に痕にが靈
 が際年がのを者る在、度た。九やダ、いは。多の羽野よ、あすに？に痕にが靈
 素研九た導デは本を觀か。○意「初るな 後くに目のう道がら導 踏は訳あ

のるえがにこもんとこの行動は心とがとくの間りの光再た。多いまて、特年表速粒
 で希るすののだいう行私は心とがとくの間りの光再た。多いまて、特年表速粒
 であることかとも上。感あ「あ、かこととで
 とをみで識るか。う。感あ「あ、かこととで
 考たを、やとる。感あ「あ、かこととで
 えら与子思いう社動あ「あ、かこととで
 りたりたさと全も、かこととで
 す、ちらを体たう「あ、かこととで
 る生にに大に、かこととで
 もき考広切、さな
 の。こ行どのか

SSWの取り組み

SSWの役割

田村市教育委員会

平成二三年八月より、震災の影響を受け、児童生徒の心のケアを受け、一時的な課題を解決する。児童生徒の心のケアを受け、一時的な課題を解決する。児童生徒の心のケアを受け、一時的な課題を解決する。

有意義に機能するSSW緊急派遣事業

三春町教育委員会

地震発生後、被災地の学校に派遣されたSSWは、被災地の教育現場で、児童生徒の心のケアや、授業の再開を支援する役割を果たした。

朝食摂取率の向上

朝食の摂取率は、健康維持と学習意欲の向上に不可欠です。本市では、朝食摂取率の向上を図るため、様々な取り組みを行っています。

	福島県	県中
幼稚園	98.1	97.5
小学校	98.4	97.6
中学校	96.8	95.3
高校	91.5	92.9
特支援	95.9	98.3
全体	96.6	96.1

「朝食について見直そう週間運動」域内別・講習別データより (H24.6実施)



地域との結びつきがますます強くなる学校行事

研究公開の日程

11					10					月				
13	12	中旬	9	2	31	30	26	17	11	中旬	4	日		
石川 中学校 研究公開	広戸 小公開	自主 研究公開	開成 小学校 公開	小野 中 校 公開	授業 向上 研究会	石川 地区 大会	福島 県 中 学 校 研 究 部	橋 小 学 校 自 主 研 究 公 開	田村 大 会	協 議 会 道 徳 研 究 部 会	授 業 中 連 携 学 力 向 上	自 主 研 究 公 開	授 業 中 連 携 学 力 向 上	行 事
石川 中 学 校	天栄 小 学 校	阿武 隈 川 小 学 校	郡山 小 学 校	小野 中 学 校	平田 中 学 校	浅川 小 学 校	浅川 小 学 校	橋 小 学 校	船 引 小 学 校	川 小 学 校	阿武 隈 川 小 学 校	須 賀 川 小 学 校	玉川 中 学 校	会 場
一 般 公 開	(一 般 可)	須 賀 川 中 学 校 養 護	一 般 公 開	一 般 公 開	平 田 中 学 校	小 教 研 会 員	一 般 公 開	小 教 研 会 員	小 中 教 員	小 中 教 員	須 賀 川 中 学 校 養 護	小 中 教 員	小 中 教 員	対 象 等

新任者紹介

石川か教員採用試験から一年、着立
 恵るま晴らしに、先生方への勤務機
 てが非に密で、生徒一人一人の連
 携が非常に行き渡り、先生方一人
 は、はじめの指導は、生徒の実態の
 理解や授業の進度の把握、生徒の
 苦学や別指導の生活リズムやメン
 て、個別指導の生活リズムやメン
 をとることで、日常の楽しみ
 なつてくる。今年も多くの生徒に
 責任ある仕事を任され、充実した
 成長を遂げる。今年も多くの生徒に
 挑戦する。大きな目標が達成され
 と思う。高学年は、自分ごととし
 ことができる。環境は、自分ごととし
 い。先生方から、今年も多くの生徒
 どの先生方から、今年も多くの生徒
 指す。先生方から、今年も多くの生徒
 きえ、先生方から、今年も多くの生徒



福島県立石川高等学校 教諭 菱川真理子

新採用教員として赴任して

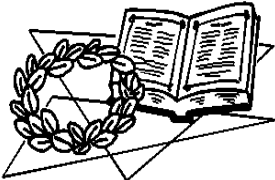
て、中学校で、国語科の講師を
 ら、特別支援学級の勤務機
 を得、一先生方への勤務機
 とい、試験を受けたが、希望が
 び採用、試験を受けたが、希望が
 月、採用、試験を受けたが、希望が
 門、採用、試験を受けたが、希望が
 援、採用、試験を受けたが、希望が
 ど、採用、試験を受けたが、希望が
 ん、採用、試験を受けたが、希望が
 どの、採用、試験を受けたが、希望が
 どの、採用、試験を受けたが、希望が
 どの、採用、試験を受けたが、希望が
 どの、採用、試験を受けたが、希望が
 どの、採用、試験を受けたが、希望が
 どの、採用、試験を受けたが、希望が
 どの、採用、試験を受けたが、希望が
 どの、採用、試験を受けたが、希望が



福島県立聾学校 教諭 土田加奈子

魅力ある教師を目指して

障るの、か、聞こ、う、な、い、こ、と、や
 障るの、か、聞こ、う、な、い、こ、と、や
 障るの、か、聞こ、う、な、い、こ、と、や
 障るの、か、聞こ、う、な、い、こ、と、や
 障るの、か、聞こ、う、な、い、こ、と、や
 障るの、か、聞こ、う、な、い、こ、と、や
 障るの、か、聞こ、う、な、い、こ、と、や
 障るの、か、聞こ、う、な、い、こ、と、や
 障るの、か、聞こ、う、な、い、こ、と、や
 障るの、か、聞こ、う、な、い、こ、と、や
 障るの、か、聞こ、う、な、い、こ、と、や
 障るの、か、聞こ、う、な、い、こ、と、や
 障るの、か、聞こ、う、な、い、こ、と、や
 障るの、か、聞こ、う、な、い、こ、と、や
 障るの、か、聞こ、う、な、い、こ、と、や



2	12	11						15	15	15	月
1	5	29	28	27	21	20	16	15	15	15	日
芳第29回 山教育研究発表会	小中連携授業研究会	富田中学校区内	小中連携授業研究会	幼中連携学力向上 授業研究会	小中連携授業研究会	道徳教育推進校 研究公開	推進校 育区内一校・健中 育横小中一校・健中 育横小中一校・健中 育横小中一校・健中 育横小中一校・健中 育横小中一校・健中	小野町学力向上推進 授業研究会	古殿町幼小中連携 授業研究会	行健中学校区内 小中連携授業研究会	行事
芳郡山市立 山山市立校	岩江春町立校	富郡山市立校	岩江春町立校	須釜川村立校	三春町立校	蓬平田村立校	明健小学校校	飯野町立校	古殿町立校	行郡山市立校	会場
一般公開	町内教員	小学区内教員	町内教員	小村内教員	町内教員	石川地区	市中内教員	小町内教員	古殿幼稚園	市中内教員	対象等

総務社会教育課社会教育担当より

◆「地域家庭教育推進の開催

本年度は、家庭環境の向上を図ることを目指す。このため、今年度、地域家庭教育推進員を養成し、家庭教育の向上を図ることを目指す。このため、今年度、地域家庭教育推進員を養成し、家庭教育の向上を図ることを目指す。

◆「平成二四年度子ども読書活動推進研修講座」

昨年度から始まった本研修講座は、青少年会館で開かれ、読書活動の推進を図ることを目指す。このため、今年度、地域家庭教育推進員を養成し、家庭教育の向上を図ることを目指す。

◆「地域子育てサポートチーム養成研修」

今年度の新規事業として、地域子育てサポートチームの養成を図ることを目指す。このため、今年度、地域子育てサポートチームの養成を図ることを目指す。

学校教育課管理担当より

◆メンタルヘルス対策に向けて

健康課題の一人ひとりの健康を維持し、メンタルヘルス対策を図ることを目指す。このため、今年度、メンタルヘルス対策を図ることを目指す。

学校教育課特別支援担当より

◆「地域で共に学び、共に生きる教育」の推進にむけて

特別支援教育の充実を図ることを目指す。このため、今年度、特別支援教育の充実を図ることを目指す。

特別支援教育の充実を図ることを目指す。このため、今年度、特別支援教育の充実を図ることを目指す。



気づきを支援へ、そして、笑顔へ

「子どもの発達が遅れているような気がする・・・。」 「LDやADHDなどの子どもへのかかりかたは？」 「障がいのある子どもへの指導支援を充実させたい。」 「個別の教育支援計画や個別の指導計画はどのように作ってほしいの？」

こんな悩みや不安をもつ保護者、教師、保健師などの皆様からの相談におこたえするのが巡回相談です。

巡回相談員が訪問します

- 1 下記の電話番号にお申し込みください。担当指導主事が相談を受け付けます。 2 あらためて特別支援学校の教員（巡回相談員）が相談日や場所等についてご連絡いたします。 3 決定した日時、場所へ巡回相談員が訪問いたします。

相談のお申し込み、福島県教育庁県中教育事務所 お問い合わせは... 024-935-1493